

(今治市) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金事業) 事後評価書

平成28年5月31日

計画の名称	1 うみのまち今治を支える安全安心な港づくり		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	今治市
計画の目標			

海を中心に周辺市町村の合併によって広域化した今治圏域において、利便性・信頼性の高い海路ネットワークの充実に加え、安全・安心な暮らしの実現と地域経済の活性化を促進することによって、人口流出に歯止めをかける。また、粘り強い港湾施設整備への転換を図り、発災後においても交流・観光を実現可能とすることによって、人口流入を創出する。

計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・今治市の人口減少率4.5ポイント以下を目指す。 ・今治圏域(今治市及び上島町)における観光客数増減割合の3ポイント増加を図る。 ・港湾施設の改善率5ポイント以上の増加を目指す。 		
-----------------	---	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考			
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)				
① 人口減少率の抑制 (国立社会保障・人口問題研究所予測によると、今治市の人口はH22:166,307人からH27:158,123人と4.9ポイントの減少予測) = (H22.3.31住民基本台帳人口 - H27.3.31住民基本台帳人口) / (H22.3.31住民基本台帳人口) ≤ 4.5ポイント	171,947人		164,209人以上 (4.5%以下)				
② 今治圏域(今治市及び上島町)の観光客数の増加割合 (観光客数増減割合) = (H22~H26平均観光客数 / H16~H20の平均観光客数) - 1 ≥ 3%	4,043千人		4,164千人 (3%増)				
③ 維持管理計画書で「性能低下」と判定された港湾施設について、施設改善された割合 (港湾施設の改善率) = (H26d末時点での「健全」な港湾施設の割合) - (維持管理計画書で「健全」な港湾施設の割合) ≥ 5%	8,122m(54.2%)		8,863m(59.2%) (5%増)				
全体事業費	合計 (A+B+C)	976 百万円	A 954 百万円	B 0 百万円	C 22 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2.3%

事後評価

○事後評価(中間評価)の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
今治市社会資本総合整備計画等評価委員会による評価	平成28年5月
	公表の方法
	今治市公式ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A2 港湾事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A2-1	港湾	内地	今治市	直接	-	重要	建設	防波堤[小型船溜り整備]	延長L=200m	今治港今治地区						217	継続
1-A2-2	港湾	内地	今治市	直接	-	重要	建設	物揚場[小型船溜り整備]	延長L=360m, 水深2.5m	今治港今治地区						35	継続
1-A2-3	港湾	内地	今治市	直接	-	重要	建設	護岸(防波)[小型船溜り整備]	延長L=300m	今治港今治地区						55	継続
1-A2-4	港湾	内地	今治市	直接	-	重要	建設	道路[小型船溜り整備]	延長L=100m	今治港今治地区						11	継続
1-A2-5	港湾	内地	今治市	直接	-	重要	建設	道路[小型船溜り整備](物揚場等へのアクセス道路)	延長L=310m	今治港今治地区						11	新規
1-A2-6	港湾	内地	今治市	直接	-	重要	維持管理	今治港 長寿命化計画策定	防波堤8件・係留施設20件	今治港						15	継続
1-A2-7	港湾	内地	今治市	直接	-	地方	維持管理	森上港 長寿命化計画策定	防波堤1件・係留施設2件	森上港						1	継続
1-A2-8	港湾	内地	今治市	直接	-	地方	維持管理	田ノ浦港 長寿命化計画策定	防波堤4件・係留施設3件	田ノ浦港						1	継続
1-A2-9	港湾	内地	今治市	直接	-	地方	維持管理	早川港 長寿命化計画策定	防波堤2件・係留施設5件	早川港						2	継続
1-A2-10	港湾	内地	今治市	直接	-	地方	維持管理	四坂港 長寿命化計画策定	防波堤1件	四坂港						1	継続
1-A2-11	港湾	内地	今治市	直接	-	地方	維持管理	枝越港 長寿命化計画策定	防波堤3件・係留施設4件・臨港交通施設7件	枝越港						2	継続
1-A2-12	港湾	内地	今治市	直接	-	地方	維持管理	熊口港 長寿命化計画策定	防波堤2件・係留施設1件	熊口港						1	継続
1-A2-13	港湾	内地	今治市	直接	-	地方	維持管理	前浜港 長寿命化計画策定	防波堤3件・係留施設2件	前浜港						2	継続
1-A2-14	港湾	内地	今治市	直接	-	地方	維持管理	北浦港 長寿命化計画策定	防波堤2件・係留施設4件	北浦港						2	継続
1-A2-15	港湾	内地	今治市	直接	-	地方	維持管理	古江港 長寿命化計画策定	防波堤2件・係留施設3件	古江港						2	継続
1-A2-16	港湾	内地	今治市	直接	-	地方	維持管理	有津港 長寿命化計画策定	防波堤5件・係留施設5件	有津港						2	継続

1-A2-17	港湾	内地	今治市	直接	—	地方	維持管理	上浦港 長寿命化計画策定	防波堤15件・係留施設18件	上浦港						10	継続
1-A2-18	港湾	内地	今治市	直接	—	地方	維持管理	大見港 長寿命化計画策定	防波堤1件・係留施設4件	大見港						2	継続
1-A2-19	港湾	内地	今治市	直接	—	地方	維持管理	岡村港 長寿命化計画策定	防波堤10件・係留施設18件	岡村港						12	継続
1-A2-20	港湾	離島	今治市	直接	—	地方	維持管理	大下港 長寿命化計画策定	防波堤3件・係留施設7件	大下港						8	継続
1-A2-21	港湾	内地	今治市	直接	—	重要	改良	中型フェリー物揚場(-4.0m)改良	延長L=149m, 可動橋N=1基	今治港今治地区						8	継続・統合①
1-A2-22	港湾	内地	今治市	直接	—	重要	改良	小型フェリー物揚場(-4.0m)改良	延長L=60m, 可動橋N=1基	今治港今治地区						45	継続・統合①
1-A2-23	港湾	内地	今治市	直接	—	重要	改良	第一棧橋改良	延長L=198m, 可動橋N=1基	今治港今治地区						4	継続・統合①
1-A2-24	港湾	内地	今治市	直接	—	重要	改良	第二棧橋改良	延長L=176m, 可動橋N=1基	今治港今治地区						9	継続・統合①
1-A2-25	港湾	内地	今治市	直接	—	重要	改良	第三棧橋改良	延長L=92m, 可動橋N=2基	今治港今治地区						1	継続・統合①
1-A2-26	港湾	内地	今治市	直接	—	重要	改良	内港物揚場(-4.0m)②③④改良	延長L=467m	今治港今治地区						10	継続・統合①
1-A2-27	港湾	内地	今治市	直接	—	重要	改良	蔵敷岸壁(-5.5m)改良	延長L=480m	今治港蔵敷地区						14	継続・統合②
1-A2-28	港湾	内地	今治市	直接	—	重要	改良	蔵敷岸壁(-9.0m)改良	延長L=175m	今治港蔵敷地区						21	継続・統合②
1-A2-29	港湾	内地	今治市	直接	—	重要	改良	蔵敷物揚場(-4.0m)改良	延長L=360m	今治港蔵敷地区						10	継続・統合②
1-A2-30	港湾	内地	今治市	直接	—	重要	改良	鳥生岸壁(-5.5m)②改良	延長L=210m	今治港鳥生地区						139	継続・統合②
1-A2-31	港湾	内地	今治市	直接	—	重要	改良	鳥生岸壁(-5.5m)①改良	延長L=210m	今治港鳥生地区						3	継続・統合②
1-A2-32	港湾	内地	今治市	直接	—	重要	改良	富田物揚場(-4.0m)改良	延長L=174m	今治港富田地区						1	新規・統合②
1-A2-33	港湾	内地	今治市	直接	—	重要	改良	富田岸壁(-12.0m)①改良	延長L=240m	今治港富田地区						4	新規・統合②
1-A2-34	港湾	内地	今治市	直接	—	重要	改良	富田岸壁(-10.0m)②改良	延長L=255m	今治港富田地区						2	新規・統合②
1-A2-35	港湾	内地	今治市	直接	—	重要	改良	物揚場	延長L=330m, 水深3.0m	今治港今治地区						228	新規
1-A2-36	港湾	内地	今治市	直接	—	重要	建設	道路[内港大通線]	延長L=450m	今治港今治地区						16	新規
1-A2-37	港湾	内地	今治市	直接	—	重要	建設	道路[片原町線]	延長L=400m	今治港今治地区						47	新規
小計 (港湾事業)															954		
合計															954		

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-C1-5	施設整備	一般	今治市	直接	—	照明施設設置	小型船溜り施設の照明施設設置事業	照明灯設置5基	今治市(今治港)						4	新規
1-C1-6	施設整備	一般	今治市	直接	—	待合所等整備	渡船(波止浜⇄馬島)待合所等整備事業	待合所、航路案内板等整備	今治市(離島航路)						17	新規
1-C1-7	施設整備	離島	今治市	直接	—	航路案内板	渡船(波止浜⇄馬島)待合所等整備事業	航路案内板整備(2基)	今治市(来島・馬島)						1	新規
合計														22		

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考
1-C1-5	防波堤(1-A2-1)と一体的に照明施設を整備することで船舶航行や来港者の安全確保を図り、安定した水産物の供給を確保し、定住環境の充実を図る。													
1-C1-6	港湾整備(1-A2-1~37)と合わせて関連施設(待合所・航路案内標識等)の機能強化による海上交通ネットワークの充実を図り、島民の移動手段確保とともに「瀬戸内しまなみ海道地域観光圏」の観光交流機能を強化する。													
1-C1-7	港湾整備(1-A2-1~37)と合わせて関連施設(航路案内標識(来島・小島))の更新により海上交通ネットワークの充実を図り、島民の移動手段確保とともに「瀬戸内しまなみ海道地域観光圏」の観光交流機能を強化する。													

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少率の抑制については目標値を達成できなかった。 ・港湾施設の改良、道路整備、標識の設置等による交通ネットワークの充実を図ることにより、今治圏域における観光客数は増加したと考えられる。 ・性能低下した港湾施設の機能充実と延命化を図ることにより、港湾利用者および港湾関係者等の施設利用の安全性が向上した。 		
--------------------------------	--	--	--

II 定量的指標の達成状況	指標①(人口減少率の抑制)	最終目標値	164,209人以上 (4.5%以下)	目標値と実績値に差が出た要因	港湾施設の改良、道路整備、標識の設置等による交通ネットワークの充実により、人口流入・交流人口の増加及び人口流出の抑制に一定の効果を発揮したと考えられるが、目標値には届かなかった。		
		最終実績値	163,167人 (5.1%)				
	指標②(今治圏域の観光客数の増加割合)	最終目標値	4,164千人以上 (3%増)	目標値と実績値に差が出た要因		近年のサイクリングブームによる影響が大きいものの、本事業において実施された、安全・安心な施設整備による信頼性の高い交通ネットワークの提供、来島・馬島の待合所整備による観光客の利便性向上が、観光客の安定的な増加に寄与した。	
		最終実績値	4,658千人 (15%増)				
	指標③(維持管理計画で「性能低下」と判定された港湾施設について、施設改善された割合)	最終目標値	8,863m(59.2%) (5%増)	目標値と実績値に差が出た要因			他事業との工程調整等に時間を要したため、係留施設の改良に一部遅れが生じ整備延長が短くなった。
		最終実績値	8,541m(57.0%) (3%増)				

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理計画が策定され、適正な維持管理を行うことが可能となり、施設の延命化が図られる。 ・今治港うみの駅の利用隻数は、平成22年と平成26年の比較で倍増した。 ・西瀬戸自動車道の自動車通行止めにより実施された「サイクリング2014」では、今治と周辺島しょ部を結ぶ臨時フェリー便の発着場として今治港が利用され、参加者の快適な移動に貢献した。 		
--	--	--	--

3. 特記事項(今後の方針等)

- ・今治港今治地区において安全性能の回復と「人流」に「交流」の機能を加える基盤整備と都市施設を連携することにより、港を中心としたにぎわいを創出する。
- ・港湾施設の老朽化への早急な対応と予防保全の観点に立った適切な維持・修繕を実施する。
- ・陸地部と多くの島しょ部から形成される本市にとって、港湾施設は市民生活と産業活動を支える重要な物流・生産基盤である。社会情勢や地域特性を考慮しながら、今後も計画的に港湾施設の整備を行う。